

別海町議会会議録

第1号(平成22年11月29日)

議事日程

日程第 1		会議録署名議員の指名
日程第 2		会期決定の件
日程第 3		町長あいさつ及び提出案件の概要説明
日程第 4	議案第80号	別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 5	議案第81号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 6	議案第82号	教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 7	議案第83号	別海町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 8	報告第 5号	専決処分の報告について
日程第 9	報告第 6号	専決処分の報告について

会議に付した事件

日程第 1		会議録署名議員の指名
日程第 2		会期決定の件
日程第 3		町長あいさつ及び提出案件の概要説明
日程第 4	議案第80号	別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 5	議案第81号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 6	議案第82号	教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 7	議案第83号	別海町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
日程第 8	報告第 5号	専決処分の報告について
日程第 9	報告第 6号	専決処分の報告について

出席議員(17名)

1番	西原 浩	2番	沓澤 昌廣
3番	福原 春夫	4番	安部 政博
5番	瀧川 榮子	6番	山田 信
7番	丹羽 勝夫	8番	松原 政勝
9番	戸田 博義	10番	戸田 憲悦

1 1 番	中 村 忠 士	1 2 番	佐 藤 初 雄
1 3 番	池 田 幸 雄	1 5 番	山 崎 賢 一
1 6 番	佐々木 春 男	副議長	1 7 番
議 長	1 8 番	渡 邊 政 吉	横 堀 昭 康

欠席議員（ 1 名）

1 4 番 安 田 輝 男

出席説明員

町 長	水 沼 猛	副 町 長	磯 田 俊 夫
教 育 長	山 口 長 伸	総 務 部 長	小 守 正
福 祉 部 長	田 村 秀 男	産 業 振 興 部 長	飯 島 孝 二
建 設 水 道 部 長	田 中 忠 敏	教 育 部 長	根 本 幸 三
監 査 委 員 事 務 局 長	半 田 雅 代	農 委 事 務 局 長	森 本 哲 男
病 院 事 務 長	真 籠 毅	会 計 管 理 者	上 月 昭 彦
総 務 部 次 長	有 田 博 喜	福 祉 部 次 長	笠 原 悦 雄
福 祉 部 次 長	松 本 光 永	産 業 振 興 部 次 長	土 井 一 典
建 設 水 道 部 次 長	大 島 登	総 務 課 長	宮 部 正 好
総 合 政 策 課 長	有 田 博 喜	財 政 課 長	竹 中 仁
事 業 課 技 術 長	山 岸 英 一		

（病院建設準備室長）

議会事務局出席職員

事 務 局 長	佐 藤 次 春	主 幹	山 田 一 志
---------	---------	-----	---------

会議録署名議員

1 7 番	横 堀 昭 康	1 番	西 原 浩
2 番	沓 澤 昌 廣		

議長あいさつ

議長（渡邊政吉君） おはようございます。若干時間前でございますが、皆さんおそろいでございますので、ただいまから始めさせていただきます。

会議に入ります前に申し上げます。今会期中は、広報及び報道関係者の写真撮影を許可しておりますので、申し上げておきます。

開会 午前 9時55分

開会宣告

議長（渡邊政吉君） ただいまから、平成22年第5回別海町議会臨時会を開会いたします。

ただいま出席している議員は、17名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

なお、欠席議員は14番安田議員でございます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

議長（渡邊政吉君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により、議長において指名いたします。

17番横堀議員、1番西原議員、2番沓澤議員、以上3名を指名いたします。

日程第2 会期決定の件

議長（渡邊政吉君） 日程第2 会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

この臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、会期は、本日1日間と決定いたしました。

日程第3 町長あいさつ並びに提出案件の概要説明

議長（渡邊政吉君） 日程第3 町長から、あいさつ並びに提出案件の概要について説明があります。

町長。

町長（水沼 猛君） おはようございます。本日、平成22年第5回の臨時議会を招集させていただきました。議員各位には、それぞれ何かと御多用のところでございますが、御出席をいただきましてまことにありがとうございます。

それでは、早速でございますが、本臨時会に提出させていただきました議案の概要について、御説明を申し上げます。

このたび提出させていただきました案件につきましては、議案4件と報告2件でございます。議案第80号から議案第83号の4件につきましては、いずれも人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じ、本町の一般職職員や特別職と議員の皆様方の12月に支

給する期末手当等において、所要の改定を行おうとするものでございます。

報告第5号と報告第6号につきましては、本年6月、また9月定例会において議決をいただきました工事請負契約の一部変更に伴う専決処分について、地方自治法第180条第2項の規定により報告をするものでございます。

以上、全部で6件の案件を提出させていただきましたが、本臨時会において御審議を賜り、御決定を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げまして、議案の概要説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

議長（渡邊政吉君） ここで、お諮りいたします。

本臨時会に提出されております、日程第4 議案第80号から日程第7 議案第83号までの4件については、会議規則第39条第3項の規定に基づき、委員会の付託は省略いたしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、日程第4 議案第80号から日程第7 議案第83号までの4件については、委員会の付託は省略することに決定いたしました。

日程第4 議案第80号から日程第7 議案第83号まで

議長（渡邊政吉君） 日程第4 議案第80号別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、日程第5 議案第81号特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について、日程第6 議案第82号教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、日程第7 議案第83号別海町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定についての4件については、関連がありますので一括議題といたします。

内容について、順次説明を求めます。

総務課長。

総務課長（宮部正好君） 議案第80号から83号までの4件につきましては関連がありますので、一括して内容説明を申し上げます。

本年の8月10日、人事院が国に対し、国家公務員の給与並びに期末勤勉手当の引き下げを勧告いたしました。人事院勧告を遵守しております本町職員等の期末勤勉手当の支給基準日、これが12月1日でありますので、基準日までに月例給並びに期末勤勉手当に関する条例の一部を改正を行おうとするものでございます。

初めに、今回行われました勧告内容の概要につきまして、御説明申し上げます。

勧告によりますと、4月分の給与について、従業員数50人以上の約1万1,100社の民間事業所従業員の約45万人を対象に個人別給与を調査し、公務員と比較した結果、平均年齢41.9歳ですが、平均民間給与は39万4,909円に対し、公務員は39万5,666円で、公務員給与が757円、率にしまして0.19%上回っており、この格差を解消するため、月例給の引き下げ改定を行おうとするものであります。

また、昨年8月から本年7月までの1年間の民間において支給された特別給、ボーナスでございますが、これにつきましても民間の支給割合は年間3.97月、公務員の4.15月を下回っているため、民間のボーナス給割合に見合うよう、公務員の支給割合を0.2

カ月分引き下げる改定を行おうとするものであります。

人事院では、今回行った民間と公務員との給与調査結果につきまして、民間におきましてはベースアップの中止や賃金のカットなどを実施した企業の状況が反映されたものであると分析をしているところでございます。

次に、職員にかかわります条例改正の概要ですが、本年4月からこの改定の実施の日の前日までの期間にかかわる格差相当分を年間給与で見え解消を図るため、月々の給与については4月の給与をもとに、4月から11月までの8カ月分、この額に0.28%相当分と、6月に支給された特別給の期末勤勉手当の額に0.28%相当分、これらを合わせた額を12月に支給する期末手当から減額して支給するというものでございます。

また、民間のボーナスに当たる公務員の期末勤勉手当につきましては、民間との格差相当分として、12月支給の期末勤勉手当を0.2カ月分引き下げし、期末勤勉手当の年間支給割合を3.95月に改定するというものでございます。

それでは、議案の説明をさせていただきます。議案番号とは逆になりますが、最初に職員にかかわります議案から説明させていただきます。なお、議案の朗読は省略させていただきます。資料により説明させていただきます。

資料の4ページをお開き願います。議案第83号資料、別海町職員の給与に関する条例の一部を改正する別海町条例新旧対照表でございます。対照表の左側が改正後の条例でございます。

期末手当でございますが、第16条第2項中「100分の150」とあるのは「100分の135」に改め、同条第3項中「100分の150」とあるものは「100分の135」に、「100分の85」とあるのは「100分の80」に改めるものであります。なお、対照表の右側に今回の改正点を載せており、12月に支給する期末手当の支給率を、再任用以外の職員は「100分の15」引き下げし「100分の135」に、また、再任用職員は「100分の5」引き下げし「100分の80」にそれぞれ改定するものであります。

次に、勤勉手当でございます。第17条第2項第1号中「100分の70」とあるのは「100分の65」に改め、第2号中「基礎額に」の次に「6月に支給する場合においては」後、「100分の35」の次に「12月に支給する場合においては100分の30」を加えるものでございます。

内容につきましては、12月に支給する勤勉手当の支給率を100分の5引き下げし、再任用以外の職員は100分の65に、再任用職員は100分の30にそれぞれ改正するものでございます。

次に、資料5ページをお開き願います。

附則の改正でございます。附則第7項中「100分の99.76」を「当該各号に定める割合」に改め、同項に次の2号を加える。第1号別海町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（平成21年別海町条例第27号）附則第2項第1号に規定する減額改定対象職員100分の99.59、第2号前号に掲げる職員以外の職員100分の99.83とするものでございます。

内容ですが、平成18年3月15日別海町条例第3号の俸給表の切りかえに伴い減額される職員、いわゆる切りかえ前の給料月額を補償する減給補償の職員でございますが、これにかかわる経過措置について、平成21年別海町条例第27号に基づく改定により、この減給が補償される職員の給料月額の100分の99.76に減額されたところでござい

ます。今回、改定におきましては、さらに引き下げをして調整率を100分の99.59とするものでございます。

また、新たに減給の補償される職員となった者の調整率を100分の99.83として制定するもので、附則の第7項の文言の整理を行い、1号と2号を追加するものでございます。

次に、附則といたしまして、附則第1項施行日でございますが、この条例は公布の日の属する月の翌月の初日（公布の日が月の初日であるときは、その日）から施行するというものでございます。

附則第2項、平成22年12月に支給する期末手当に関する特例措置についてでございます。平成22年12月に支給する期末手当の額は、改正後の別海町職員の給与に関する条例第16条第2項から第5項まで、もしくは第20条第1項から第3項及び第5項及び第6項の規定にかかわらず、これらの規定により算定される期末手当の額（以下この項において「調整額」という。）に相当する額を減じた額とする。この場合において、調整額が基準額以上になったときは、期末手当は支給しないとするものでございます。

同項第1項、平成22年4月1日（同月2日から同年12月1日までの間に職員以外の者、または職員であって適用される給料表並びにその職務の級及び号俸がそれぞれ次の表の給料表欄、職務の級欄及び号俸欄に掲げるものであるものからこれらの職員以外の職員（以下この項において「減額改定対象職員」という。）となった者にあつては、その減額改定対象職員となった日）において減額改定対象職員が受けるべき給料、扶養手当、住居手当、地域手当、特地勤務手当及び管理職手当の月額合計額に100分の0.28を乗じて得た額に、同月から施行日の属する月の前月までの月数（同年4月1日から施行日の前日までの期間において、在職しなかった期間、給料を支給されなかった期間、減額改定対象職員以外の職員であった期間がある職員にあつては、当該月数から当該期間を考慮した月数を減じた月数）を乗じて得た額。

次に、同項第2項でございます。

平成22年6月1日において、減額改定対象職員であった者に同月に支給された期末手当及び勤勉手当の合計額に100分の0.28を乗じて得た額。

次に、附則第3項、規則への委任でございます。

前項に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定めるとするものでございます。

以上で、議案第83号の説明を終わります。

次に、議案第80号について御説明申し上げます。議案資料の1ページをお開き願います。

議案第80号資料、別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する別海町条例新旧対照表でございます。

第6条第2項第2号中の「100分の280」とあるものは「100分の260」に改定するものでございます。本改定につきましても、人事院勧告に基づく国の給与法改正に準じ、期末手当の支給率の引き下げを行うものでございます。

附則といたしまして、この条例は、公布の日の属する月の翌月の初日（公布の日が月の初日であるときは、その日）から施行するというものでございます。

以上で、議案第80号の説明を終わります。

次に、議案第81号について御説明申し上げます。議案資料の2ページをお開き願います。

す。

議案第 8 1 号資料、特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する別海町条例新旧対照表でございます。

第 4 条第 4 項第 2 号中の「 1 0 0 分の 2 1 5 」とあるのは「 1 0 0 分の 1 9 5 」に改めるものでございます。

本改定につきましても、人事院勧告に基づく国の給与法改正に準じ、期末手当の支給率の引き下げを行おうとするものでございます。

附則といたしまして、この条例は、公布の日の属する月の翌月の初日（公布の日が月の初日であるときは、その日）から施行するというものでございます。

以上で、議案第 8 1 号の説明を終わります。

次に、議案第 8 2 号について御説明申し上げます。議案資料 3 ページをお開き願います。

議案第 8 2 号資料、教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部を改正する別海町条例新旧対照表でございます。

第 3 条第 4 項第 2 号中の「 1 0 0 分の 2 1 5 」とあるものを「 1 0 0 分の 1 9 5 」に改めるものでございます。

本改定につきましても、人事院勧告に基づく国の給与法改正に準じ、期末手当の支給率の引き下げを行おうとするものでございます。

附則といたしまして、この条例は、公布の日の属する月の翌月の初日（公布の日が月の初日であるときは、その日）から施行するというものでございます。

以上で、議案第 8 2 号の説明を終わります。

これで、議案第 8 0 号から議案第 8 3 号までの 4 件の議案につきまして、説明を終わります。

議長（渡邊政吉君） 議案第 8 0 号から議案第 8 3 号までの 4 件について、内容説明が終わりましたので、これから一括質疑を行います。

質疑に入ります。

1 2 番佐藤議員。

1 2 番（佐藤初雄君） 今、事務局のほうからそれぞれ 4 点、8 0 号から 8 3 号まで説明がございました。

それぞれ減額という、人勧の準用というようなことで、条例改正というようなことでございますけれども、どのくらいそれぞれの中で減額されるか、総金額です、それぞれ議員、あるいは特別職、教育長、あるいは職員の給与等々、どのくらい総額でそれぞれ減額になるか。もし、差し支えなければお答えをいただきたいなと思います。

議長（渡邊政吉君） 総務課長。

総務課長（宮部正好君） ただいまの御質問にお答えいたします。

今回、改定の減額される額ですが、議員の方につきましては約 8 6 万円、特別職につきましては約 3 2 万円、教育長につきましては約 1 3 万円、職員につきましては全会計ですが 3, 0 5 8 万円、総体で 3, 1 8 9 万円が減額となる見込みでございます。

以上でございます。

議長（渡邊政吉君） ほかに御質問ございますか。

1 1 番中村議員。

1 1 番（中村忠士君） ことしの 1 月末に発表された総務省の家計調査というものがあ

りまして、二人以上の勤労者世帯の09年度の平均年収は622万3,000円だという、こういう数字が出ているのですけれども、町の職員においては、この平均年収というものに関してどのくらいに算出されるかということ、今の議案説明を聞いていて、その差がどのくらいなのだろうかということに関して、一つお聞きをしたいなと思いましたので質問をいたします。

それから、この10年くらいの期間に、次々に職員の給与、あるいは手当が削減されてきたわけですね。直近のこの10年間、どのくらいの額が職員においては削減されてきたかと。今ある数字で結構ですから、その点を教えていただきたいと、こういうふうに思います。

議長（渡邊政吉君） 総務部長。

総務部長（小守 正君） 大変申しわけありません。町の職員の平均年収、あるいは、どのくらいの額が削減されているか、両方とも調査しておりません。

議長（渡邊政吉君） 中村議員、よろしいですか。

中村議員。

11番（中村忠士君） 全体的に、例えば町民の年収について、これを教えてくださいということになると、なかなか難しい数字になるかなというふうに思うのですけれども、町の職員に関して、どういう状況になっているのかというのは、ぜひ、町長初めつかんでいただいて、町職員の働く環境に関する基礎的な情報については認識していただければなと、その上で議案を提出していただければなというふうに思うわけであります。

別な観点からの質問を、今、数字がないということですから、これ以上お聞きをしても、それは詮無いことですので、違った観点の質問をさせていただきます。

前日も3月定例会で、期末手当等の削減について提案があり、それが通ったわけですが、その際に、私、反対討論の中で、公務員の賃金が下がる、それから民間の賃金も下がる、民間の賃金が下がれば、また公務員の賃金が下がるというふうに、全く際限のない賃金の切り下げというのがここずっと起こってきているわけですね。そういう際限のない賃金の切り下げというものがどんどん続いていくと、こういうことになると、デフレの進行というのは絶対とまらない。これは、国の政策等で町長の責任というふうに私は全面的には考えていませんけれども、地方経済を支えるという上での町職員の給与、そこにある収入、これは非常に大きなものですから、そういう際限のない収入の切り下げ、年収がどんどん下がっていくと、こういうことに関して、町長は一体どういうふうにご考えておられるか。

ある数字では、年収200万円以下の国民が、今は勤労者の4分の1を占めるようになってきているというふうになっています。今回のこの人事院の勧告も、そういう異常な民間の賃金切り下げを根拠にして出している。こういうことが続けば、ますます国民の生活は疲弊していくばかりだろう、町民の経済もなかなか大変になっていくだろうと、こういうふうに思うわけですが、そこら辺、町長どういうふうにお考えでしょうか。

議長（渡邊政吉君） 町長。

町長（水沼 猛君） 中村議員の御質問にお答えをいたしたいと思います。

先ほども、10年間というような、職員の給料が下がってきた状況等々御質問をいただきました。毎年、日本全体の国民の、いわゆる従業員を含めて労働者の賃金が下がっている状況があるということが、今、御指摘のとおりですし、その中で、今のデフレの状

況、それから日本経済全体の状況等々、私としても非常に心配をいたしておりますし、この状況を何とか国としても改善をし、そして成長過程に入り、そして労働者を含めた、農業者もそうですし、中小企業の皆さんもそうですし、すべての日本の国民の所得が上がっていくように、常にそういうことは我々も思っておりますし、ぜひ国にそういう方向で経済対策、政策、労働者対策等々に取り組んでいただきたいと、その思いは中村議員と一緒に思っております。

そういう中で、今、現実としては、我々の別海町においても、労働者のそれぞれの給与所得が下がってきている、こういう現状も国内全体と同様にあるわけであります。したがって、地方公務員あわせて、地方公務員の使命である町民と、私も常日ごろ申しておりますが、やはり地方公務員、我々の町役場を含めて、町民とともにある役場としてやっていかなければならない。そして、職員もそうあるべきだということを申し上げてまいりました。

この厳しい現状の中で、最低限、人事院勧告を遵守してやっていこうという方針で今日までもやってまいりましたし、ここは職員の皆さんの厳しい状況はわかりませんが、私としては、この厳しい一般の皆さんの状況を踏まえて、最低限人事院勧告についてはそのとおり執行させていただく、そういうことでやってまいりましたし、今後もそうしてまいりたいと、そのように考えております。

議長（渡邊政吉君） 中村議員。

11番（中村忠士君） 今の町長の御答弁を聞いて思うところは、一般的に町内で働く方々の給与がどんどん下がっているというふうに聞いてはいます。けれども、その実態というものが本当に正確につかまれているのかどうかということに関しては、職員の实態も数字としてはなかなか出てこない状況ですから、町内で働く方々の給与、町民の給与、こういうものについての実態というのは恐らくつかまれていないのではないかなと思うのですが、私は一つ、その正確な状況というのは、町の職員もそうだし、町民の収入についても正確な状況をやはりつかんでいく必要があるというふうに思いますので、ぜひ、また別な機会に、その状況というのは町の数字として披露していただきたいと、こういうふうに思うのですけれども。

最後に、どんどん元気がなくなる、こういう状況の中で。そこに起爆剤を、やはり町として元気を出していこうということで、町の職員にも頑張ってくださいという、そういう意味でも、地域の経済を活性化させるという意味でも、これ以上、元気のなくなるような施策というのはいかなるものかと、こういうふうに思うわけですが、元気を出して経済を回していくという意味の町長のお考え、ちょっと聞かせていただきたいと思います。

議長（渡邊政吉君） 町長。

町長（水沼 猛君） 御質問にお答えしたいと思います。まず、職員給料、平均してどのくらい、それについては、少々時間をいただければすぐわかる話であります。

ただ、民間のほうが、では幾らになっているのだろうか、農業、漁業、それから一般の中小企業、商工を含めてですね、その辺はちょっと、そういう調査についてはかなり時間がかかるのかなと、そのように思っております。

それと、今回の人勧につきましても、本町の労働者の皆さん、大変厳しい状況にあると。その中で、やはり我々としては、最低限この人勧を守りながら、人勧に基づいた改正を行いながら、やはり町民の皆さんの理解をいただく。我々の職員給与についても、町民

の皆さんの理解をいただきながら行政運営をしていく、これも極めて大事なことであります。

その中で、職員の皆さんも、確かに給与が、所得が減っていくということは大変厳しい状況とは思いますが、それを甘んじて我慢していただいている、そういう思いで、それがもとで職員の皆さんの労働意欲が下がっていく、そのようなことはないと思って一生懸命頑張っているということだと私は思っております。

元気が出る政策、それはまた別個に考えていく問題だと思っておりますので、この人勧の遵守をしていく、人勧を守っていく、今回の改正について、それが職員の士気が低下するというような状況ではない、職員の皆さん、状況をしっかり受けとめて頑張っている、そのように理解しています。

議長（渡邊政吉君） ほかに御質問のある方、ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようですので、以上で質疑を終わります。

議案第 80 号別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 80 号は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第 81 号特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。討論ございますか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 81 号は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第 82 号教育長の給与及び旅費並びに勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 討論を終わります。

これから、採決いたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） 御異議なしと認めます。

したがって、議案第 82 号は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第 83 号別海町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定についての討論に入ります。

まず、原案に反対者の発言を許します。

5 番 瀧川議員。

5 番（瀧川榮子君） 反対の立場で討論いたします。

一つ目として、9月28日付、日経新聞に、デフレ脱却のために労働者の賃金を上げこそすべきであり、公務員の給与引き上げは、公務員優遇ではなく民間の賃上げを誘発し、需要を喚起する呼び水となるというイギリスの経済学者ケインズの言葉を引用した公務員の給与引き上げを主張しています。

公務員の賃金の引き下げは、地域経済に大きな影響を与えることは必至です。また、今回の人事院勧告が、間接的に民間労働者の賃金や一時金引き下げにつながる懸念もあり、ますます消費の低迷と景気悪化の悪循環を加速させることにつながる事が考えられます。元気の出る経済にはつながりません。

二つ目として、職員の士気に与える影響です。人員計画のもと、少ない人員で職員は住民サービスの向上のために頑張っています。しかし、毎年毎年所得が減少していくことは、職員のやる気を引き出すものにならないということにつながりかねません。また、本当に欲しい人材の確保が困難になるという可能性も生まれます。そして、もともと人事院勧告とは、公務員の団体交渉権や争議権を制約することへの代償措置で、公務員の利益を代弁すべきものであるにもかかわらず、生活を脅かす勧告を行うこと自体が問題であると言わなければなりません。

以上を述べて、反対討論といたします。

議長（渡邊政吉君） 次に、原案に賛成の者の発言を許します。ございますか。

17 番横堀議員。

17 番（横堀昭康君） 賛成の討論いたします。

今の瀧川議員の反対討論ですが、この議案だけ反対されるというのはちょっと片手落ちではないのかなと。全体みんながひとしくという立場であれば別なのですが、この号だけというのはちょっと片手落ちな気もいたしますが、私も考え方としては、給料が下がることですから、手当が下がることですから不本意ではあるのですが、現状の経済状況下をかんがみると、忍びないけれども理解をしていただきたいという立場でございます。

先般の新聞に、道内の中小企業の年末のボーナスが14年連続下がっているという記事が載っておりました。男の人で、平均年齢40歳で32万5,500円だと。それから、女性は35歳ですが24万9,500円と。公務員の方々から比べて格段に低いというふうに言わざるを得ないわけですが、別海町の現状はこんなものではないと、大半の企業はこれに満たないというのが現状だというふうに認識しております。

この際ですから、私、道内の中小企業、いわゆる零細企業も入るのでしょうか、中小企業同友会というところで09年度の賃金の実態を調べたものが手元にありますので、ちょっとそれを参考までに申し述べておきたいというふうにするのですが、なかなかこれは回答を得られるというのが難しいのですが、全道の200社からの回答ということなのですが、事務系で札幌が一番給料が高いと言われておりますが、そこで男の人の平均、43歳の人の平均年収が419万円というふうになっております。それから、女性が45歳で年収が340万円ということです。どうでしょうか。これ札幌で高いところです。これが全道の平均賃金ということになりますと、建設業の分野をとってみますと、男子が40歳で年収が391万円です。これは年収ですからね。女子が40歳で304万円ですよ。その他の運輸だとか通信だとかというところの例を見ますと、男子で40

歳で年収340万円です。女性が42歳で235万円ということです。女性が男性に比べてかなり低いのが民間の状況なのです。

それから、この際、ちょっと蛇足ですけども言いますけれども、退職金に至っては、男が30年勤続して506万円、それから40年勤続して930万円と、こういうことです。1,000万円の退職金をもらえるところはほとんどなしということですから、これは公務員の方と比較していただきたいというふうに思うのですが、公務員の方々は入るときに選抜されておりますから、民間の方々と同じく考えるなという理論はわかるわけです。しかし、同じくこの別海町で生活をしている方々と比較したときに、やっぱり理解していただきたいというふうに思うわけです。そんなようなことで、今の給与の全体からすると、生活を何とか切り詰めれば理解できると、我慢できるという数字ではないかというふうに思うところでございますし、公務員の場合は諸手当が完備しているのです。民間の場合、いろいろな手当がなかなか薄いというふうな部分もあります。

疑問に思うのは、その中の一つに勤勉手当というのが、勤勉に働くのが当たり前ではないのかなと、どういう手当なんだというふうに思うのです。勤勉でなければ、民間はすぐ解雇です。そのようなことで、恵まれている部分もありますということも添えまして、このぐらいのところ忍んでいただきたいということで、賛成討論にいたします。

議長（渡邊政吉君） ほかに討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（渡邊政吉君） ないようですので、これで討論を終わります。

これから、採決いたします。

本件については、起立により採決いたします。

本案を、原案のとおり決定することに賛成する議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（渡邊政吉君） 起立多数であります。

したがって、議案第83号は、原案のとおり可決されました。

日程第8 報告第5号

議長（渡邊政吉君） 次に、日程第8 報告第5号専決処分の報告についてを議題といたします。

内容について、説明を求めます。なお、本件は、報告のみでありますことを申し添えます。

財政課長。

財政課長（竹中 仁君） 報告第5号の内容について御説明を申し上げます。

報告第5号専決処分の報告について。

地方自治法第180条第1項の規定により、次のとおり専決処分をしたので同条第2項の規定により報告する。

本件は、請負工事の変更契約にかかわる専決処分について、報告するものであります。

専決処分書を朗読いたします。

専決処分書。

地方自治法第180条第1項の規定により、次のとおり専決処分する。

平成22年11月16日、別海町長水沼猛。

工事請負契約の一部変更について。

平成22年6月24日、議案第59号により議決を経て締結した浜春別尾岱沼線戸春別橋架換工事（上部工）請負契約の一部を次のように変更する。

契約金額「6,525万7,500円（内消費税及び地方消費税額310万7,500円）」を「6,534万1,500円（内消費税及び地方消費税額311万1,500円）」に改めるというものでございます。

変更の内容につきましては、潮位上昇によるのり面の洗堀防止に備え、布団かごを追加したもの。また、既設構造物の取り壊し撤去及び処理にかかわる概数を精査して、8万4,000円の増額となったものであります。

以上で、報告第5号の内容説明を終わります。

日程第9 報告第6号

議長（渡邊政吉君） 次に、日程第9 報告第6号専決処分の報告についてを議題といたします。

内容について、説明を求めます。なお、本件は報告のみでありますことを申し添えます。

財政課長。

財政課長（竹中 仁君） 報告第6号の内容について御説明いたします。

報告第6号専決処分の報告について。

地方自治法第180条第1項の規定により、次のとおり専決処分したので同条第2項の規定により報告する。

本件につきましても、請負工事の内容の一部を変更する必要が生じ、専決処分を行ったことから議会に報告を行うものであります。

専決処分書を朗読いたします。

専決処分書。

地方自治法第180条第1項の規定により、次のとおり専決処分する。

平成22年11月16日、別海町長水沼猛。

工事請負契約の一部変更について。

平成22年9月17日、議案第74号により議決を経て締結した中央児童館建設建築主体工事請負契約の一部を次のように変更する。

契約金額「8,694万円（内消費税及び地方消費税額414万円）」を「9,127万6,500円（内消費税及び地方消費税額434万6,500円）」に改めるというものでございます。

変更の内容については、主に2点ございます。

1点目は、建設支障物の撤去、処分にかかわるもので、工事着手に先立つ準備段階で現場の整地作業を施工中、建設敷地の一部の土中に、かなり昔に投棄されたものと思われる大量のごみ、コンクリート殻等が埋却されていることが判明し、放置することで建設後の建物に支障を来すことから撤去が必要となったものでございます。

また、隣接する施設との境界に設置されていた立木、立ち木ですね、及びフェンスについて、建築建物の屋根からの落雪による倒木倒壊により施設管理に支障を来すおそれがあるため、撤去することが望ましいと判断されたことから、これらの撤去、搬出費用及び処分費用を追加したものです。

2点目ですが、資材の使用変更にかかわるもので、排煙設備とみなされる排煙窓につき

まして、当初設計の樹脂製が建築確認申請審査で排煙設備材料の規準を満たさないと指摘されたことにより、この使用をアルミニウム製に変更いたしました。これらの変更により、４３３万６，５００円の増額となったものです。

また、専決処分事項ではございませんが、資材変更により納期が当初予定よりおくれるため、平成２３年２月２５日までとしていた工期を、平成２３年３月２５日まで１カ月間延長していることを申し添えます。

以上で、報告第６号の内容説明を終わります。

閉会宣告

議長（渡邊政吉君） 以上をもって、本臨時会に付議された案件の審議はすべて終了いたしました。

これにて、平成２２年第５回別海町議会臨時会を閉会いたします。

閉会 午前１０時５７分

町長あいさつ

議長（渡邊政吉君） 町長あいさつ。

町長（水沼 猛君） 閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

まずもって、本臨時会に提案させていただきました議案４件につきまして、速やかに御審議をいただき御決定をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

この場をおかりたしまして、報告並びにお願いを申し上げたいと思います。

去る１１月２１日から１１月２６日に、議長にも同行をいただきながら中国のほうを訪問してまいりましたが、この報告につきましては、後日、議員の皆様方にも全員協議会等で時間をおかりしながら御報告をさせていただきたい、そのように考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

また、１１月２３日、本町におきまして、小学校へ入学前の幼いお子さんが交通事故で亡くなりました。交通安全の推進につきましては、日ごろから町を挙げて取り組んでいるところでございますが、まことに残念なことであります。謹んでお悔やみを申し上げる次第でございます。

議員各位におかれまして、交通事故には十分気をつけられますようお願いを申し上げますとともに、年末に向けまして、地域でも交通安全への注意をぜひ喚起をいたしていただければ幸いと考えておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

まさに月日のたつのも早いものでありまして、あと二日で師走となります。１２月の定例会につきましては、さきの臨時会終了後にもお知らせをいたしておりますが、１２月１４日火曜日から１２月１７日金曜日までを予定をしております。議員各位におかれましては、それぞれ何かと御多忙な時期となりますが、御参集賜りますようお願いを申し上げます。閉会に当たってのあいさつとさせていただきます。

大変ありがとうございました。

議長（渡邊政吉君） 議員並びに町長を初め所管の皆様、大変御苦労さまでした。

なお、この後、事務局から若干の連絡事項がございますので、議員各位におかれましては、そのままで少々お待ちください。

大変、お疲れさまでございました。

上記は、地方自治法第 1 2 3 条の規定により会議の次第を記載したものである。

平成 年 月 日

署 名 者

別海町議会議長

議 員

議 員

議 員